

第1回、第2回点検意見に対する取組の 追加報告

< N P O 全国ネットワーク組織の取組 >

環境省中央審議会

自然環境・野生生物合同部会 報告メモ

(051124 NPO 法人 全国水環境交流会 山道)

1. NGO・NPO ネットワーク「森・里・川・海」の目的と活動

(1) 経過

森林、農村、河川、海浜等を舞台に自然環境、生活文化などの保全、継承を目的とした地域と活動する全国ネットを持つ NGO/NPO が「自然再生推進法」(2002)に基づいて、自然再生事業の推進を図るための事例集作成の中から生まれた。(2004)

現在、(NPO)森づくりフォーラム、里地ネットワーク、(NPO)全国水環境交流会、(NPO)海づくりフォーラムの4団体を母体として構成

森づくりフォーラムの呼びかけで「森林と市民を結ぶ全国の集い」(2004.09)の開催に合わせ、自然再生シンポジウムを行う。

これまでに、4団体及び関係者による交流会としては、下記の通り開催している。

- ・ 「里地里山フォーラム」(2004.10/山形県戸沢村)
- ・ 「川とともに生きる全国大会」(2004.10/岩手県北上市)
- ・ 流域圏自然再生リレーシンポジウム「横浜・海の森づくりフォーラム」(2005.03/横浜市)
- ・ 第8回「川の日」ワークショップへの参加(2005.07/愛知県豊田市)
- ・ 第1回「森・里・川・海 技術懇談会」(2005.09)
- ・ 第2回「森・里・川・海 技術懇談会」(2005.12 予定)

(2) 目的

自然再生を水系、流域の概念で考える。

再生の手法、技術、人材の交流によるスキルアップを図る。

国、自治体、関係機関との協働による環境管理を促進する。

管理技術を共有し、市民、住民による流域(環境)管理への参加を促進する。

全国ネットワークによる調査、研究、情報収集を行う。

(3) 活動例

- | | |
|---|------------------------|
| 森 | ・森林管理へのボランティア参加、企業との協働 |
| | ・植林活動と環境学習、体験学習 |
| | ・雑木林の共同所有と運営 |
| | ・水、木炭、キノコ等の生産参加 |
| | ・源流ネットワークづくりによる情報交流 |
| | ・野生生物等モニタリング 等 |

- 里
- ・里山、里川の保全と管理
- ・谷戸地の保全と利活用
- ・カタクリ、ホタル、メダカ、トンボ等の保護と育成
- ・水路、溜池等の保全と活用
- ・エコツーリズムの企画とガイド
- ・地元学等による地域情報の受発信

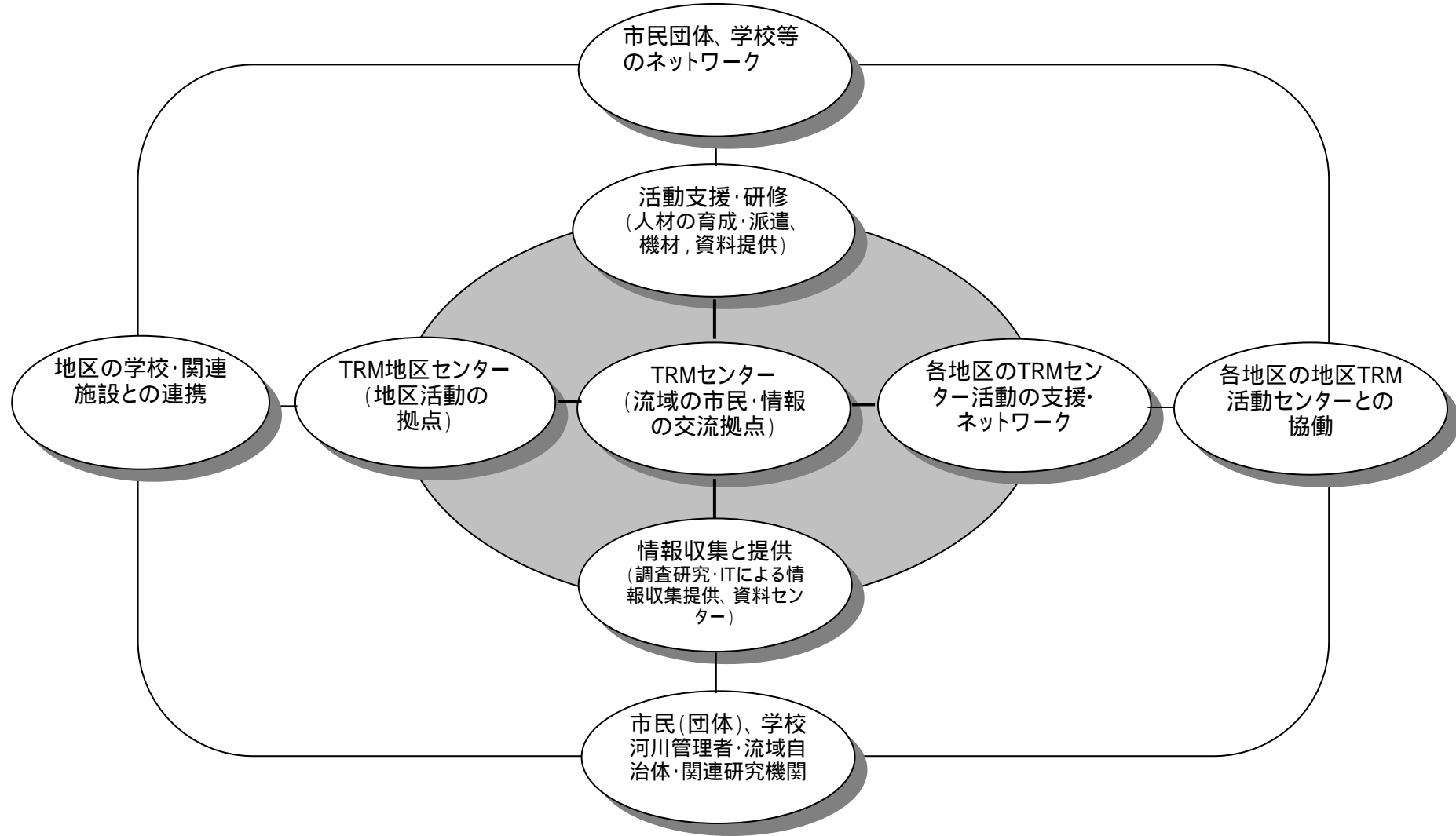
- 川
- ・川での体験学習、環境学習
- ・生物、ゴミ、水質等モニタリング
- ・野草、魚類、野鳥の保護、育成
- ・河川整備、保全計画への参加
- ・自然再生技術の開発と事業
- ・地域防災、福祉事業への参加

- 海
- ・干潟の保全
- ・漂着ゴミ、流出油、水質事故等の調査、回復支援
- ・生物相の保護、育成 等

(4) 参考資料

多摩川流域リバーミュージアム・センターの役割
市民による河川環境のモニタリングについて
九州の NPO ネットワーク
活動事例写真

< 参考資料 > 多摩川流域リバーミュージアム・センターの役割



1. 河川環境を巡る市民活動の動向

多摩川においては、河川法の改正(1997)を契機とした整備計画の策定及び、市民による「多摩川・21世紀の流れ～市民行動計画(案)～(2001・5 多摩川市民フォーラム)策定以降、河川環境と市民(団体)活動のあり方にいくつかの潮流の変化が顕著となっている。

地域における市民活動ネットワークの定着

河川整備計画策定の際に、市民の意見を聴取することなどを目的とした地先ごとに市民(団体)との河川環境の点検、意見交換が行われた。

この地先ごとのタイプの異なる市民の活動はその後、“水辺の楽校”“2000年の多摩川を記録する会の調査単位”あるいは、地域ごとの総合的学習の支援母体となるなど各地区で日常的な活動として定着化しつつある。

河川環境と密接に連動した地域の市民活動

従来の市民活動は、鳥・植物・魚など各人の興味に応じた特徴的な自然を対象とする同好会的な色彩が強かった。これに対し、地先での市民ネットワークの活動は、河川敷の清掃、春・秋の野草観察、水遊びなど子どもから大人まで参加が可能なイベント型が主流となりつつある。近年では、オオブタクサ、アレチウリの退治など積極的に河川環境にかかわりをもつ活動も増えてきた。

反面、地先での継続的な活動のためには、生態学的な河川環境の理解や観察調査を記録し、次の活動に繋げる工夫が必要などの課題も指摘されている。

地域の市民活動のネットワーク化

地先での活動をより積極的に進展させるために、地域単位での源流探訪や河口の自然観察など、地先の市民団体相互の交流が進みつつある。このような潮流の中で多摩川流域ネットワークなどの市民連携組織が誕生した。

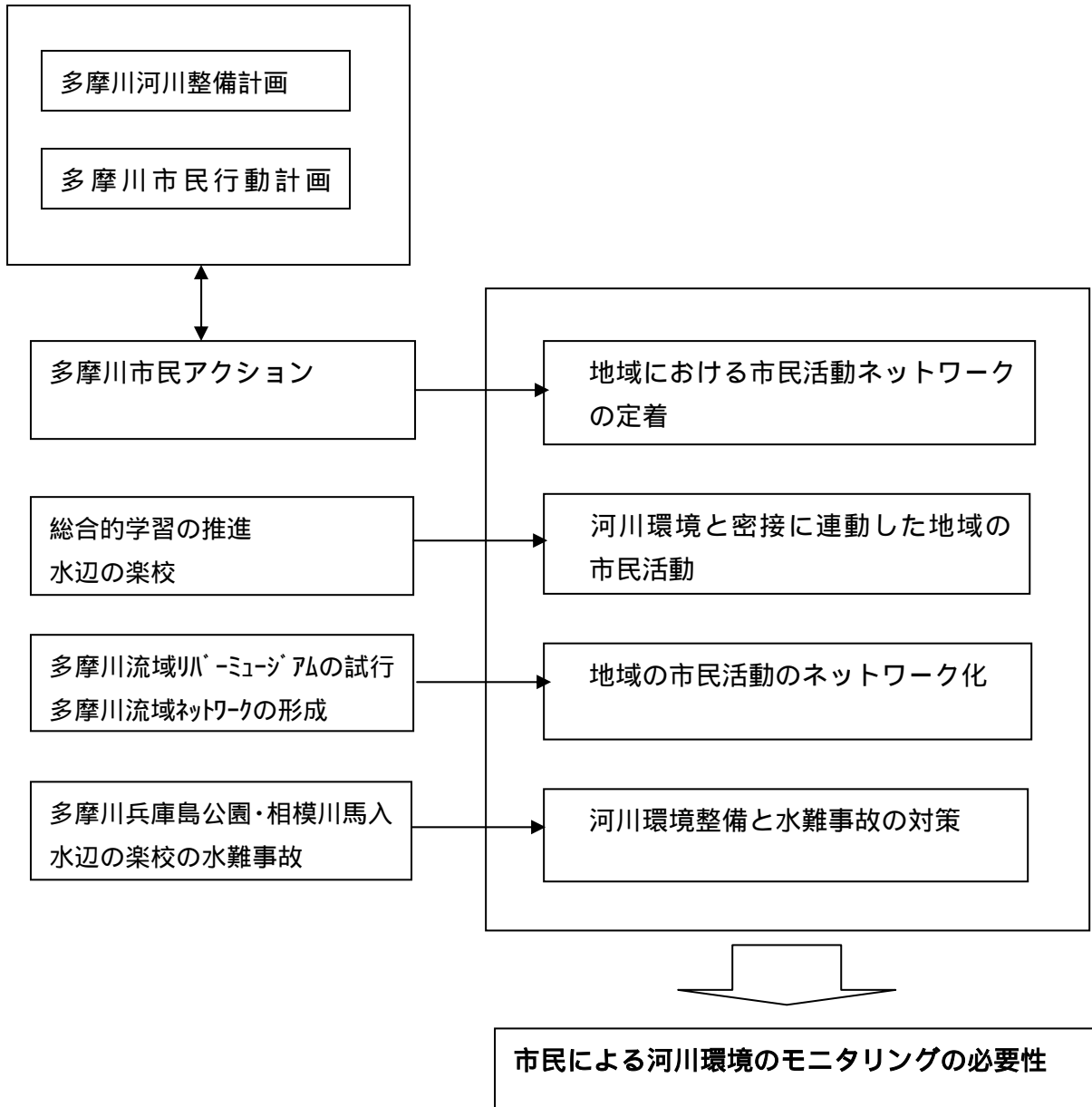
新しい水難事故への対応

地先の水辺活動等に対応して、ワンドや多自然型護岸などの環境整備が同時に進められ水辺へのアクセスビリティは格段に改善された。これに対し、各団体とも活動時の水難防止のために、危険予測・保険加入・救急救命措置の取得・安全管理対策などに積極的に取り組んできた。

しかしながら、馬入の水辺の楽校、多摩川の兵庫島においては河川環境が整備された地点での平常時の市民団体の活動時外で、新しいタイプの水難事故が発生しており、環境整備と水辺活動に対する責任など、新たな防災体制を構築することが迫られている。

図 1 市民活動の潮流と河川環境のモニタリングの役割

多摩川と市民活動の潮流



3. 市民による河川環境モニタリングの基本システム

(1) モニタリングシステムの基本的枠組

地図・空中写真情報とリンクした環境のモニタリング

項目別の環境調査と地図・空中写真情報とリンクした環境のモニタリングシステムを構築する。

- ・ 河川地形図（1/1000）横断図
- ・ 空中写真（植生調査のためには7月～10月に各地区統一的に撮影することが望ましい）

河川環境モニタリングの素図の作成

地図(空中写真)情報をベースに、河川の微地形の変動とリンクした植物群落分布調査を河川環境のモニタリングの基本（素図）として位置付ける。

- ・ 河川微地形（河道・中洲の変動、礫・有機物の堆積、河川構造物など）の分布状況と履歴。
- ・ 河川敷に分布する、樹木、1年生草本群落、多年生草本群落の分布。

調査項目の選定と調査手法の統一化

各地区の河川環境の素図を各地区の統一的なモニタリング項目と地区の特徴を考慮したモニタリング項目と調査方法（マニュアル）を立てる。

- ・ 水質、水流（流速分布）など
- ・ 洪水痕跡調査、ゴミの漂着・堆積状況等
- ・ 基礎的な植物群落（オギ・ヨシ・ハリエンジュなど）の分布状況調査
- ・ 特徴的な植物の分布（カワラサイコ・アレチウリ・など）の分布状況調査
- ・ 鳥、魚、底生生物、昆虫等の観察調査等
- ・ 定点の景観調査など、

調査・記録方法の統一化

各地区の調査時期、調査・記録方法は統一化し、データの蓄積と比較を可能とする。

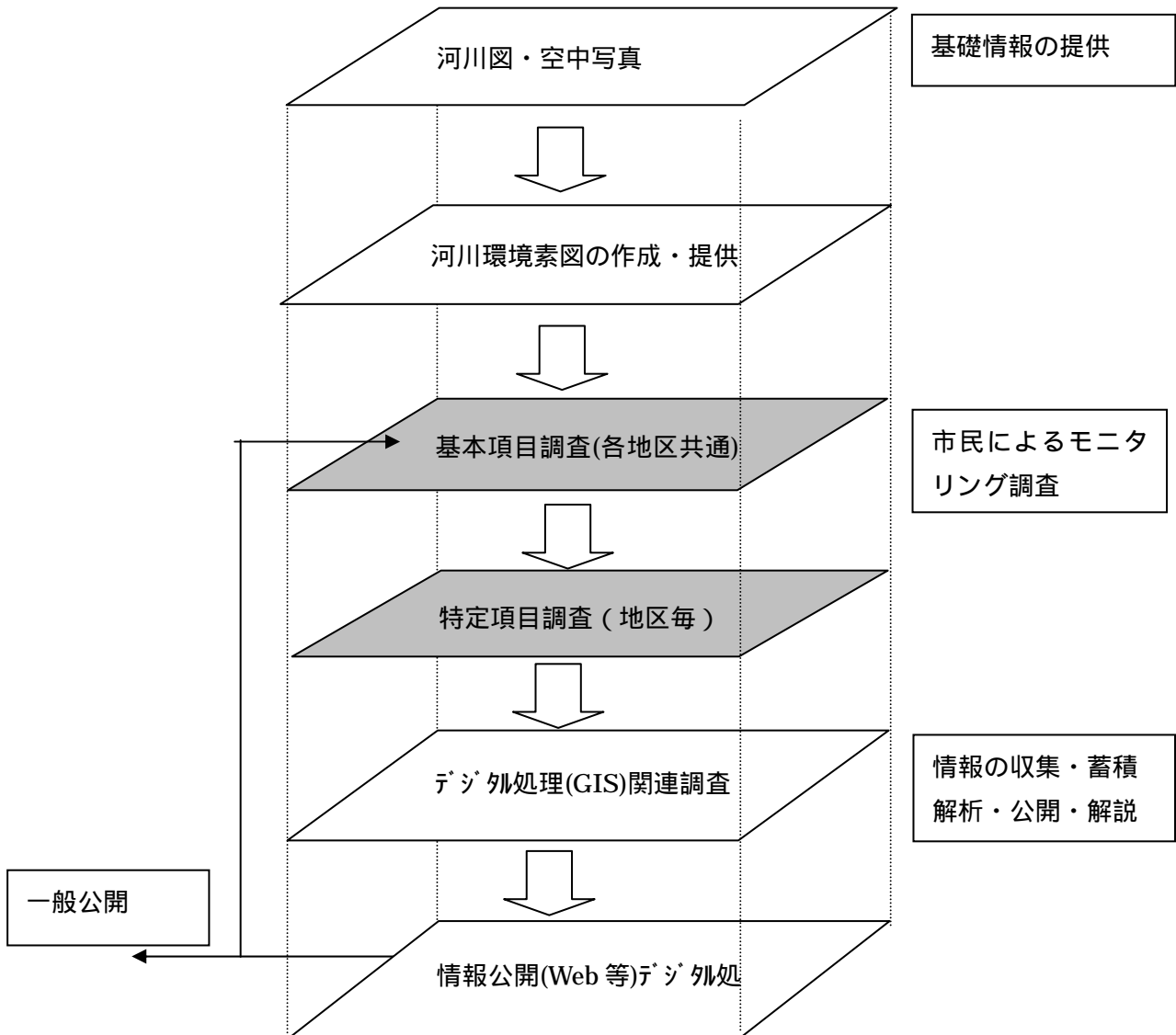
- ・ 調査、記録方法のマニュアル化
- ・ 各地区の定期的一斉調査と出水後などの特定期など調査日の設定。

調査の結果の蓄積、公開、解説

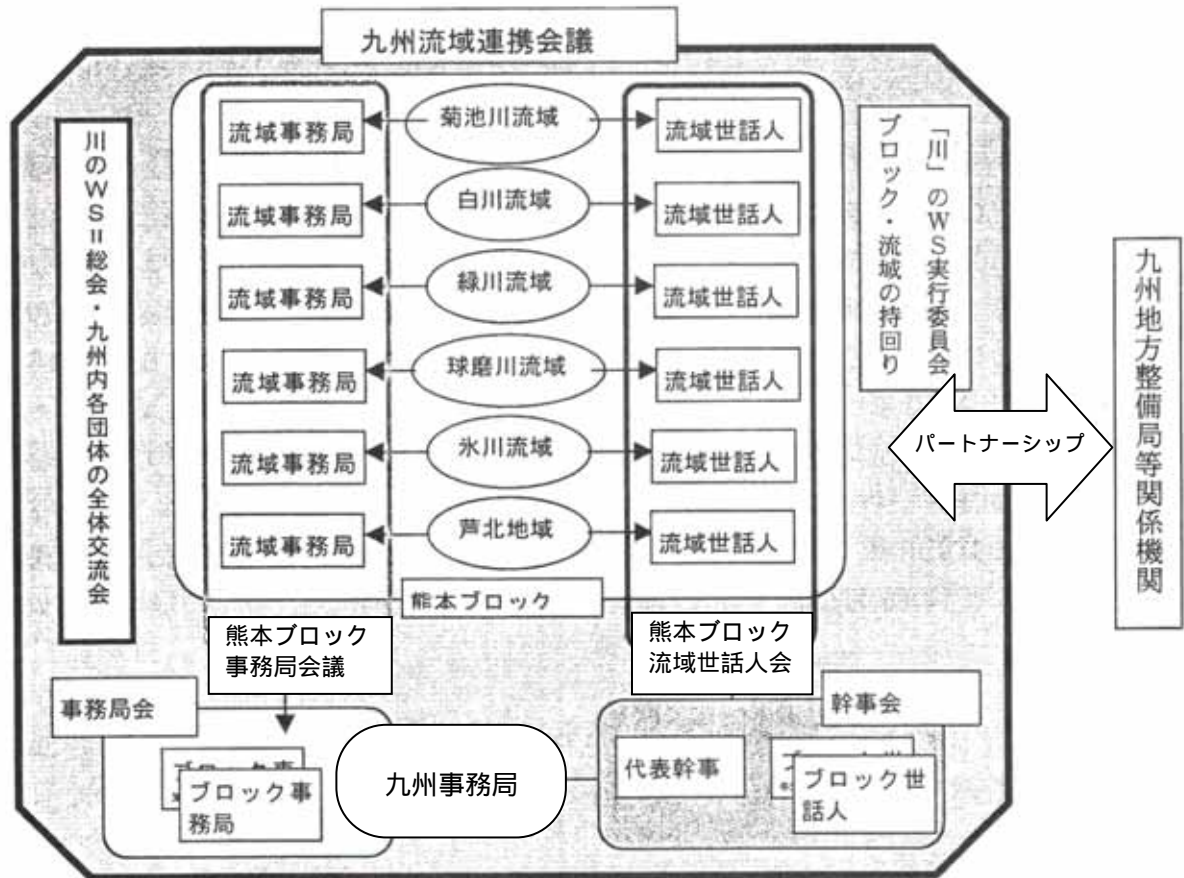
調査の結果は集約的に管理し情報の蓄積、公開、解説を図る。

- ・ 地図情報とリンクした調査結果の蓄積
- ・ Web等、ポータル等による情報の公開、解説

図 - 2 モニタリングシステムの基本的な枠組



< 参考資料 > 九州のNPOネットワーク



九州	ブロック	流域	地域
①川の情報室 ・ニュースレター&HP ・川のデータバンク (自然、人材、施設、等)	①(ブロック川の情報室) ・ブロック通信&HP ・川のデータバンク (自然、人材、施設、等)	①流域情報室 ・流域通信&HP ・流域データバンク (自然、人材、施設、等)	①地域情報の発信 ・流域通信&HPへ ・流域データバンクへ (自然、人材、施設、等)
②リバーツーリズム推進事業 (ツアーコンダクター育成)	②流域間リバーツーリズム (流域間プログラム)	②流域リバーツーリズム (上下流プログラム)	②流域リバーツーリズム (プログラム実施)
③リバースクール開催事業 (共通基礎プログラム・講師)	③(リバースクール開催支援) (ブロックプログラム・講師)	③リバースクール実施 (流域プログラム・講師)	③リバースクール実施 (現地プログラム)
④川の指導者育成事業 (中級・九州バージョン・講師)	④(川の指導者育成事業) (初級・中級の開催)	④川の指導者育成事業 (初級の開催・啓発)	④川の指導者講座参加 (現地開催)
⑤川・流域のガイド育成事業 (育成基礎プログラム・講師)	⑤流域のガイド育成講習会 (ブロック講習会)	⑤川・流域のガイド育成事業 (流域講習会)	⑤川・流域のガイド育成事業 (現地講習会)
⑥流域・ブロック活動支援事業 (申請、組織化、人材育成)	⑥流域活動支援事業 ・川づくりアドバイザー (OB活用・講師)	⑥環境保全啓発活動等支援 ・総合的学習・植林支援 (OB活用・講師)	⑥地域活動支援 ・総合的学習支援 (現地プログラム)
⑦川遊びハザードマップづくり (基準・フォーム)	⑦	⑦川遊びハザードマップづくり (現地調査・流域まとめ)	⑦川遊びハザードマップづくり (現地調査)
⑧リバースカウト事務局 (ワッペン/バッジ)	⑧(RSブロック事務局)	⑧リバースカウト流域事務局	⑧リバースカウト活動
⑨九州「川」のWS&交流会	⑨(ブロック実行委員会)	⑨現地事務局・委員会・活動	⑨現地活動

< 参考資料 > 活動事例写真
体験学習



全国水ガキ交流ワークショップ
(2003.09 島根県高津川支流匹見川)



千歳川かわ塾
(2002 北海道恵庭市他千歳川)

自然再生事例



アザメの瀬 シードバンクの池 (松浦川 / 佐賀県 2004年)



トンボ公園 (桶ヶ谷 / 静岡県磐田市1989年)



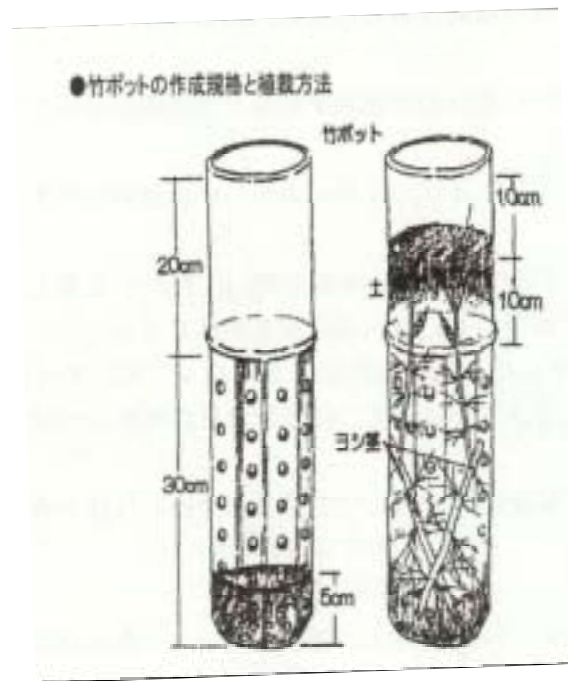
トンボ自然公園 (高知県四万十市 / 2005年)



ホタル池
(那珂川 / 福岡県2005年10月)



カミネッコンを使った植樹活動
(子吉川 / 秋田県2004年10月)



竹ポットを使ったヨシの再生
(宍道湖 / 島根県)



森の学校・渋沢西端里山林 (神奈川県秦野市2005)